

令和元年度事業報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

少子高齢化が進むとともに人口が減少過程に入り、企業等の人手不足や現役世代を支える分野での労働人口の減少は深刻な問題です。

このような中で、高齢者の果たす役割はますます重要であり、当センターの運営基盤の安定を図る上から就業の拡大や会員の確保に取り組んできました。

令和元年度の当センターの事業実績は、事業の見直しをしたことにより前年度と比較し減額の結果となりました。また、年間の収支も若干のマイナスとなりました。

今後も引き続き、新規受注を推進するために事業所及び家庭訪問等を行うなど就業の拡大を図るとともに、会員を増やす努力を図る必要があります。

なお、年間を通して、安全・適正就業や会員の資質向上等にも取り組んでまいりました。

(1) 安全適正就業の推進

安全・適正就業推進員による会員の就業先への巡回指導を年間6回実施し、就業会員の安全適正就業に努めました。

安全委員会においては、事故0を目指して「就業者全体会議」、「植木剪定安全講習会」を開催するとともに、各会議等で安全の時間を作り安全就業の徹底に努めました。

- ① 11月16日 : 植木剪定安全講習会を開催し、植木剪定作業の実技をしながら安全意識の高揚を図りました。(9名の参加)
- ② 11月22日 : シルバー就業者全体会議において「安全就業について」の教育を実施しました。(45名の参加)
- ③ 12月20日 : 長生荘ボランティア清掃時に「安全作業」についての教育を実施しました。(48名の参加)

(2) 財政基盤の安定

シルバー人材センターを運営していくうえで財政面の安定は最も重要な課題です。最少経費で最大の効果が得られるよう諸事業について見直すべきところは見直し、運営に専心しました。

(3) 会員の確保

入会説明会を開催するとともに、推進員による会員拡大や会員による声掛けにより、会員の確保を図りました。新規会員として6名の加入がありました。今年度の会員数は164名です。

(4) 就業の開拓の推進

推進員による事業所や個人宅を訪問し、一人でも多くの会員にその希望と能力に応じた仕事ができるよう就業機会開拓の推進を図りました。

皆野町から指定管理者の指定を受けている「皆野町老人福祉センター」の管理運営や皆野町介護予防事業（ふれあい広場）の受託事業については、適正な運営を図りました。

(5) 会員の資質向上

会員の資質向上のための「シルバー就業者全体会議」において、外部講師を招き講話をいただきました。

(6) 普及啓発活動の推進

当センターの広報誌・ホームページ及びみんなの皆野ふれあいまつりにおいて、当センターのPR活動に努めました。

(7) 組織活動の強化

当センターにおいて、会員の組織の活性化は、適正かつ円滑な事業運営を行ううえで不可欠であり、各組織において随時諸事業を展開しました。

総務委員会	センターの普及啓発、各種調査と新規会員の勧誘活動、会員の配分金及び事務費等の検討
安全委員会	会員の就業と安全確保及び事故の防止等
広報委員会	広報誌の編集・作成
農業部会	遊休農地の活用、農地等の維持管理の受託
ふれあい事業部会	ふれあい広場事業の実施
ひまわり福祉部会	ボランティア活動（歌謡健康教室における健康体操）
職群班	職種ごとに必要に応じて職群班の編成及び就業先のリーダー選任
地区委員	地域会員とセンター事務所のパイプ役

(8) 社会参加の推進

会員が、次のボランティア活動等へ積極的に参加しました。

日 程	内 容	場 所	人 員
11月2日～ 3日	みんなの皆野ふれあいまつり (準備～本祭)	おまつり広場 (役場前)	延べ 41名
12月20日	長生荘ボランティア清掃	老人福祉セン ター長生荘	48名